

社会人の勉強時間と給与は 蜜月の関係だった！

まとめ: 石橋幸一郎

参考: マネ会 <https://hikakujo.com/manekai/entry/20170216>

社会人の勉強時間ってどれくらい？

ちょっと古いデータですが、平成 23年に行われた社会生活基本調査の結果から見ていきたいと思います。この調査をざっくり説明すると、ランダムに抽出した 20万人を対象に、仕事や家事、遊びまで含めて『どんなことに時間を使ったのか？』を調べたものになります。

調査項目の中に『学習・自己啓発・訓練(学業以外)』という項目があります。こういった分析は “定義” が大事になりますが、この項目の内容例として下記のような行動が対象としてあげられています。

学級・講座・教室
社会通信教育
テレビ・ラジオによる学習
クラブ活動・部活動で行うパソコン学習など
自動車教習

上記の項目には下記のような備考もつけられていました。

個人の自由時間に行う学習をいう。
研究(学業以外)・職場で命ぜられて受けた研修は「5 仕事」とする。
学校の宿題の「自由研究」は「6 学業」とする。
(参考:用語の解説(調査票 A関係))

では下ごしらえが出来たところで、どれくらい勉強をしているのか見ていきましょう！

社会人の勉強時間は一日7分!?

今回は、仕事をしている『有業者』のみで抽出してみました。

年齢別にまとめましたが、全体での1日あたりの平均勉強時間は、**1日7分程度**です。

いや「よし、それだけやりゃ十分だな」じゃないんです。この数字、ずいぶん小さいような気がしませんか？ それもそのはずで、全く勉強をしていない人の数値も入っているからなんです。

この調査は直近1週間の行動を対象としています。その中で特定の行動を行った人のことを「行動者」、調査対象者全体に占める行動者の割合を「行動者率」と呼びます。勉強の行動者率、つまり **直近1週間で勉強をしていた人は、5%前後**しかいませんでした。

また、行動者だけを対象として計算した平均時間を「行動者平均時間」と呼びます。行動者平均時間でみると、全体では1日あたり123分となりました。勉強している人は、1日2時間近くを勉強時間にあてているんですね。結構みなさん頑張っていますね。

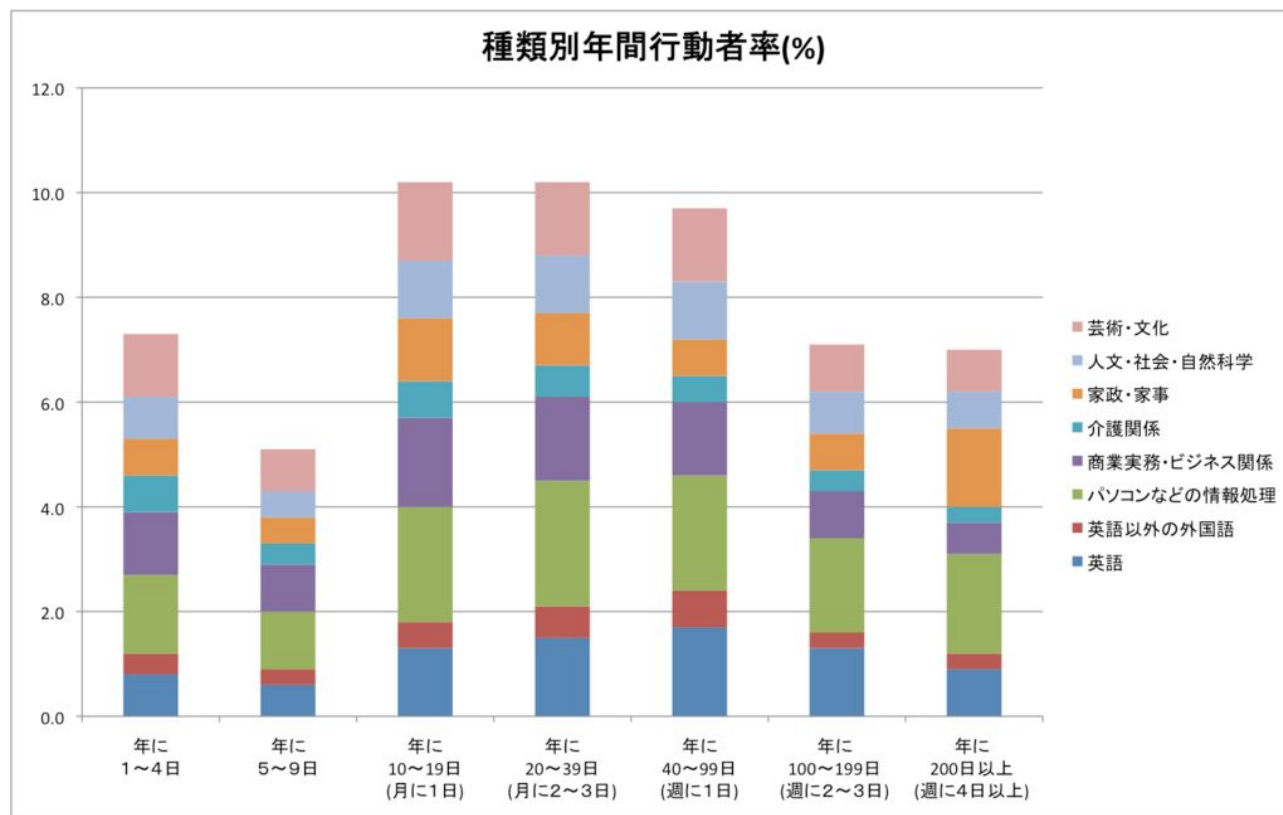
	総平均時間(分)	行動者平均時間(分)	行動者率(%)
15~19歳	18	151	12.3
20~24歳	13	155	8.5
25~29歳	9	135	6.2
30~34歳	6	122	4.9
35~39歳	6	110	5.0
40~44歳	5	111	4.5
45~49歳	6	112	5.1
50~54歳	7	118	5.4
55~59歳	5	112	4.4
60~64歳	6	118	4.9
65~69歳	6	129	4.9
70~74歳	7	119	5.6
75~79歳	6	130	4.6
80~84歳	8	138	5.0
85歳以上	9	121	7.7
全体	7	123	5.4

勉強の頻度はどれくらい？

ただ「サラリーマンの5%しか勉強していない！」とするのはちょっと早計。直近の1週間では勉強していなくても、直近1年間だったら何かしら勉強をしている人もいますでしょう。

直近1年間で、どの程度の頻度で勉強をしたのか。また、どんな内容をしたのかについてのデータもありましたので、まとめてみました。

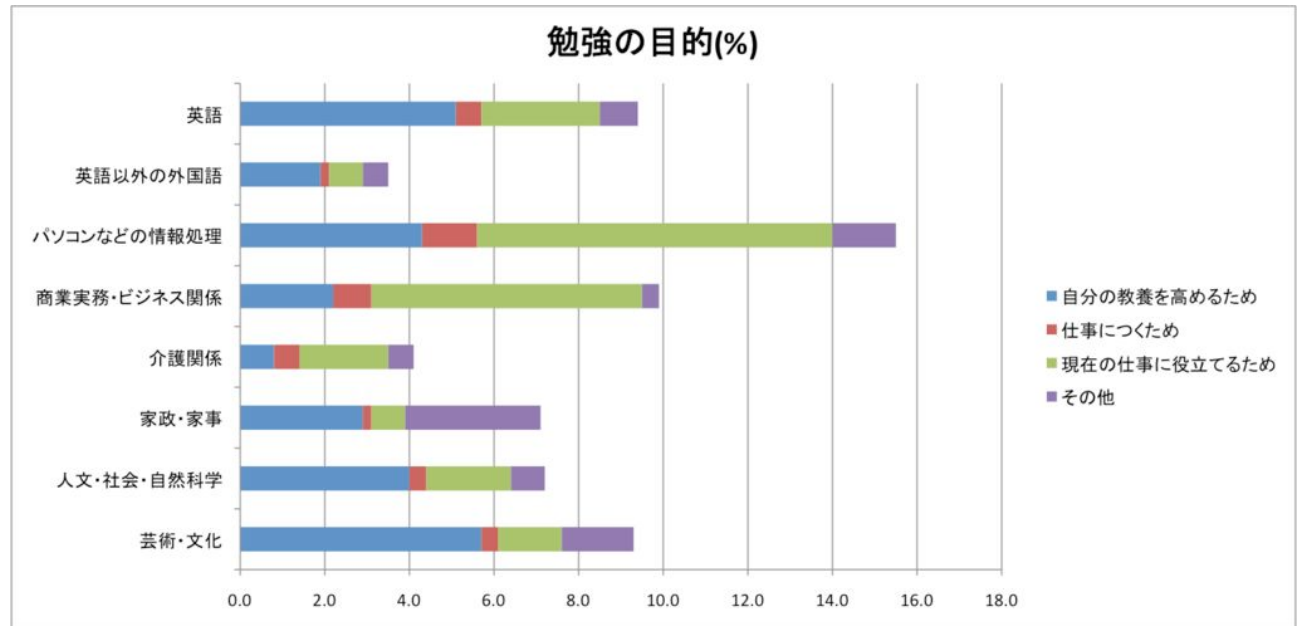
だいたい、月に1日から週に1日くらいが多いみたいです。また全体的に、英語とITが人気のようです。



みんな何のために勉強しているの？

こうやって見ていくと、案外みなさん何らかの形で勉強している人は多いように見えますね。でも、一体何のために勉強しているのでしょうか？

科学や芸術など、自分の教養を高めるために……という回答もかなり多いのですが、やはりITやビジネス関係などを中心に、「仕事に役立てるため」「仕事につくため」という回答が多くを占めています。やはり、なんやかんやで自分の仕事のために勉強をしている人が多いんですね。



年収と勉強時間

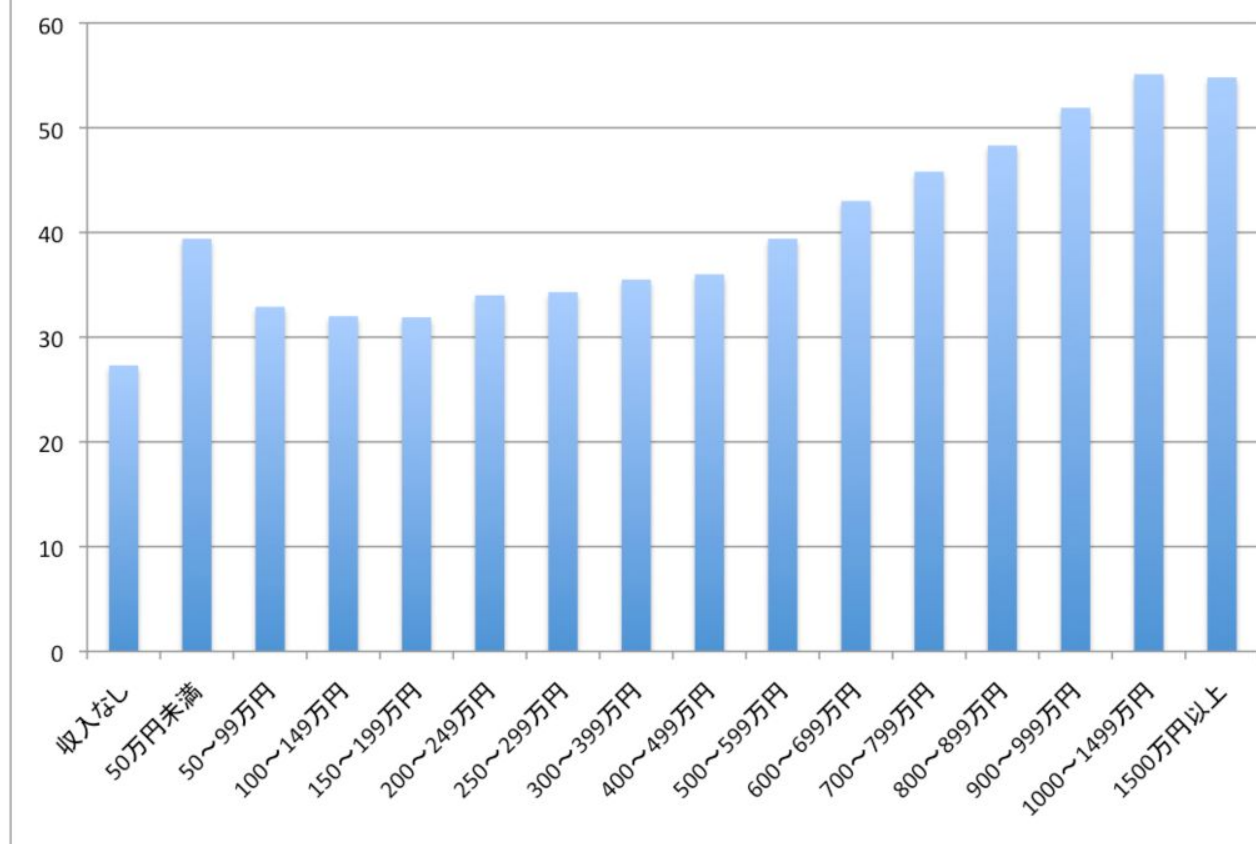
じゃあ実際に、沢山稼いでいる人は勉強をしているのでしょうか？ 年収別に、直近1年間で勉強をしたかどうかを見てみると、随分興味深い結果が得られました。

見ての通り、**面白いくらいに年収が上がれば上がるほど、行動者率は増加しています**。もう少しちゃんと分析するには、年収以外の要素が影響している可能性を排除するために重回帰分析をすべきですが、それを差し引いてもなかなか面白い傾向ですね。

勉強の習慣があるから年収が高いのか、それとも年収が高いから勉強をする余裕があるのか。鶏が先か卵が先かのようなところもありますが、この2つの変数の間には、なんらかの関係性はありそうです。

もちろん、収入が全てではありませんが、このグラフを見ていると、**なんだかもっと勉強してみたいな！**という気分になってきますね。

年収別年間行動者率(%)



まとめ

- 自身の仕事のために学習を行うと、簡単に上位3%に入ることができる
- 学習を行う人ほど年収が高い
- 毎日学習を行う習慣をつけることで、数年後 年収に雲泥の差が出る

学習の方法

- 通常業務をより高いレベルで行うために、専門分野の知識を身につける
通常業務+ α の業務を行い、毎日レベルアップしていく
- 分からないところは、上司にどんどん聞いて知識吸収速度を上げる
(上司の評価もアップ)
- 経営者向けの本を読んで、社長に質問する(社長は泣くほど嬉しいはず)
経営者との話の内容が変化し、スムーズに仕事ができる